



写真 97 No.51 地点 広田川中流  
中吉橋、中央 (上流側)、同右上から懸濁化



写真 98 No.51 地点 広田川中流  
中吉橋 (左岸堤防から上流方向)



写真 99 No.17 地点 広田川下流  
岡島橋、中央 (上流側)



写真 100 No.17 地点 広田川下流  
岡島橋、中央 (下流側)



写真 101 No.17 地点 広田川下流  
堤外植生 (右岸堤防から岡島橋方向)  
水際から斜面上にノイバラ (バラ科、落葉性のつる性  
低木)、多年草本類が繁茂する。



写真 102 No.17 地点 広田川下流  
同左、ナンキンハゼ (トウダイグサ科)  
本種は中国原産の落葉高木で、庭木・街路樹・公園樹  
の用途で使われている。



写真 103 No.18 地点 安藤川下流  
江原小橋 (左岸下流側から)



写真 104 No.18 地点 安藤川下流  
江原小橋・中央 (下流方向)、採水

(14)



写真 105 No.18 地点 安藤川下流

護岸上に留まるクサガメ。外来のミシシippアカミミガメ (ヌマガメ科) が多く生息する水域で珍しい。



写真 106 No.18 地点 安藤川下流

同左、クサガメ (ヌマガメ科) (何かの原因で不活発。外来種との競合があるのかもしれない。)

(付記) 当河川の堤外・法面においてもナンキンハゼが生長し繁茂する状況が観察される (下流方向の写真 104 参照)。

クサガメは矢作川下流域で以前普通にみられた在来種であるが、繁殖地が開発や河川改修によって消失したり狭められている。これに対して最近では外来種・ミシシippアカミミガメがよく繁殖する傾向にある。改変水域の地形・単調な生態系・採餌条件・水質などが生息や増殖に都合良いためか、分布域を急速に拡大している。このことから本種の個体観察例が減ってきている。



写真 107 No.19 地点 須美川下流  
宮下橋 (左岸堤防から上流方向)



写真 108 No.19 地点 須美川下流  
宮下橋、中央 (上流方向)



写真 109 No.19 地点 須美川下流  
同右上、両岸にハゴロモモ (スズメ科・外来種) が繁茂している。

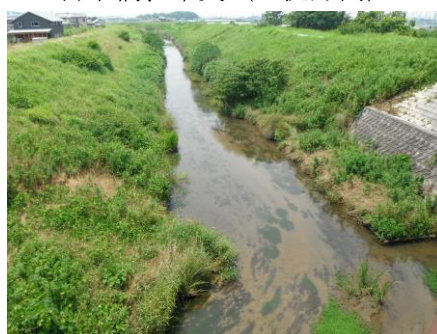


写真 110 No.19 地点 須美川下流  
宮下橋、中央 (下流方向)、ハゴロモモが河床に生育している。



(15)



写真 111 No.22 地点 二の沢川下流  
白妙橋下流右岸側（上流方向）



写真 112 No.22 地点 二の沢川下流  
同左（下流方向）採水地点



写真 113 No.22 地点 二の沢川下流  
測定状況



写真 114 No.22 地点 二の沢川下流  
同左、透視度測定



写真 115 No.21 地点 北浜川下流  
刈宿橋、透視度測定



写真 116 No.21 地点 北浜川下流  
同左、水質測定

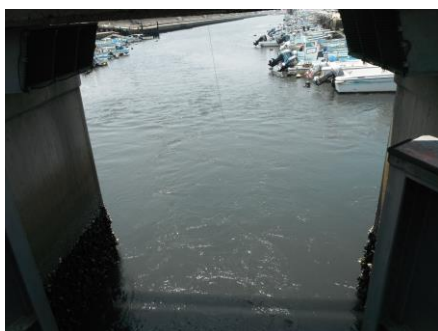


写真 117 No.23 地点 一色排水路流末  
間浜橋、排水樋門（マイターゲート）



写真 118 同左、水面  
河口まで生息域を広げたミシシピアカミミガメ、その他ボラ稚魚の群泳・水草切片（水面）

(16)

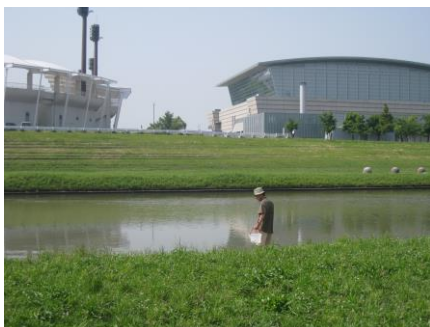


写真 119 No.27 地点 逢妻川 10K2 付近  
逢妻大橋、採水



写真 120 No.27 地点 逢妻川 10K2 付近  
同上、透視度測定



写真 121 No.27 地点 逢妻川 10K2 付近  
同上、水質測定



写真 122 No.27 地点 逢妻川 10K2 付近  
同左、透視度測定



写真 123 No.29 地点 逢妻川 7K0 付近  
国道 23 号 (知立バypass) 橋下流、採水



写真 124 No.29 地点 逢妻川 7K0 付近  
同上、透視度測定



写真 125 No.28 地点 境川 8K2 付近  
国道 23 号 (知立バypass) 橋の下流、採水



写真 126 No.28 地点 境川 8K2 付近  
同左、透視度測定